

目の不自由な人のための検定試験がはじめて行われる

山崎与右衛門の努力によって、目の不自由な人のための珠算検定試験制度が研究され、昭和40年に商工会議所は、視覚障害者のための第1回検定試験を実施しました。この試験に全国の盲学校37校、855名が受験しました。

このような目の不自由な人に対する珠算は、アメリカやヨーロッパでも研究され指導されています。

「そろばんの日」が8月8日にきめられた

昭和41年に全国珠算教育連盟では、「そろばんの日」をパチパチの語呂合わせから、8月8日に決めました。毎年この日には、全日本珠算選手権大会が開催され、そろばん日本一が決まります。

